



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



静岡新聞

記事を読んで、問いに答えましょう。

2022年10月4日朝刊東部版

左官職人からアドバイ
スを受けて作業に励む
参加者＝松崎町内

なまこ壁 伝統技術継承



松崎で体験講座

松崎町や観光協会、商工会でつくる「町漆喰(しつくい)文化次世代継承事業実行委員会」は11月まで、外壁工法の伝統様式「なまこ壁」づくりの体験講座を開いている。町内の左官職人が講師を務め、全5回でなまこ壁をあしらったパネルを完成させる。

地元左官職人手ほどこき

なまこ壁は、瓦を壁に貼り付け接ぎ目をしっくい(ナマコ)のように盛り上げてつくる。西風が強い同町では防火のため発展した。講座は職人の減少に伴い、技術継承のため2021年に開始。町内外の10人が9月上旬から作業に励んでいる。

10月2日には町内で、コテなどを使い90センチ四方のパネルにしっくいを塗り重ねる「中塗り」を行った。参加者は、左官職人の中村一夫さん(81)と高橋恒彦さん(58)の手ほどきを受け、真剣な面持ちで取り組んだ。

同町の主婦森みゆきさん(69)は「実際に作業を体験すると、手先の繊細な動きが必要で難しい。きれいにできた時は達成感がある」と話した。

(松崎支局・太田達也)

- ①記事の「なまこ壁」は何を塗り重ねて作りますか。()
- ②「なまこ壁」の名は何にちなんでいますか。()
- ③松崎町に「なまこ壁」が多いのは何に関係しますか。()
- ④「なまこ壁」の作業は、どんなところが難しそうですか。30字以内で書きましょう(句読点を含みます)。

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年～中学校／社会、図画工作、美術、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2022年10月4日朝刊東部版

左官職人からアドバイスを受けて作業に励む
参加者＝松崎町内

なまこ壁 伝統技術継承



松崎で体験講座

松崎町や観光協会、商工会でつくる「町漆喰（しっくい）文化次世代継承事業実行委員会」は11月まで、外壁工法の伝統様式「なまこ壁」づくりの体験講座を開いている。町内の左官職人が講師を務め、全5回でなまこ壁をあしらったパネルを完成させる。

地元左官職人手ほどき

なまこ壁は、瓦を壁に貼り付け接ぎ目をしっくい（漆喰）でナマコのよう盛り上げてつくる。西風が強い同町では防火のため発展した。講座は職人の減少に伴い、技術継承のため2021年に開始。町内外の10人が9月上旬から作業に励んでいる。

10月2日には町内で、コテなどを使い90センチ四方のパネルにしっくいを塗り重ねる「中塗り」を行った。参加者は、左官職人の中村一夫さん（81）と高橋恒彦さん（58）の手ほどきを受け、真剣な面持ちで取り組んだ。

同町の主婦森みゆきさん（69）は「実際に作業を体験すると、手先の繊細な動きが必要で難しい。きれいにできた時は達成感がある」と話した。

（松崎支局・太田達也）

- ①記事の「なまこ壁」は何を塗り重ねて作りますか。（ **しっくい（漆喰）** ）
- ②「なまこ壁」の名は何にちなんでいますか。（ **瓦を壁に貼り付け、接ぎ目をしっくい（漆喰）でナマコのよう盛り上げてつくるから。** ）
- ③松崎町に「なまこ壁」が多いのは何に関係しますか。（ **西風が強く、防火のために発展した。** ）
- ④「なまこ壁」の作業は、どんなところが難しそうですか。30字以内で書きましょう（句読点を含みます）。

（例）コテなどで塗るので、手先の繊細な動きが必要で難しい。（26字）
壁と瓦の接ぎ目をしっくい（漆喰）できれいに塗り重ねていくのが難しい。（30字）
など

年 組 名前

作問者：静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

（小学校高学年～中学校／社会、図画工作、美術、総合）